

第84回番組審議会議事録

1. 開催年月日 令和2年9月29日(火) 午前10時～11時30分
2. 開催場所 COM倶楽部会議室 (箕面市船場東2-5-47 COM3号館5階)
3. 委員の出席 委員総数 6名
- 出席委員 5名
- 出席委員の氏名 稲垣千秋、神垣美代香、中川弘佳、
智内威雄、桑田政美
- 欠席委員の氏名 須貝昭子
- 放送事業者側出席氏名 藤井 栄治 (代表取締役社長)
太平麻由美 (取締役放送局長)
野間 耕平 (編成課員)
4. 議 題 1) 番組 ハイスクールプログラム第3週「We are SOIS family」
2) 審議
3) その他番組に対する意見
5. 議事の概要 事務局挨拶の後、稲垣委員長が議長となり審議となる。

6. 審議内容

1) 番組

(1) 事務局より番組説明

「ハイスクールプログラム」は、若い世代である高校生の生の声を聴きたいという趣旨で、2012年4月から放送しています。箕面にある4つの高校（箕面東高校、箕面高校、関西学院千里国際高等部、豊島高校）の演劇部員や放送部員、生徒有志が週替わりで放送を担当しています。第3週は関西学院千里国際高等部の生徒有志が「We are SOIS family」と題して、番組を制作しています（SOIS…Senri & Osaka International Schools）。同校はインターナショナルスクールで、英語や芸術分野が充実しており、学校行事も他にはないユニークなものが行われています。海外渡航経験のある生徒や帰国子女も多いことから、海外での体験談など、特色ある番組制作が可能と考えました。

今年4月からは高校2年生の女子7人が番組を担当していますが、新型コロナウイルスの影響でスタジオ収録ができなくなったため、アプリ「Zoom」を活用したオンライン収録を行ってきました。8月は、グランピングに行ったメンバーたちが、出先からZoomを使って局のスタジオとつないで収録しました。コロナ禍のなかで高校生が何を思い、過ごしているのか、局では高校生たちの目線に添って話しやすい環境を作り、彼女たちの等身大のトークを引き出しています。また、若い世代の発信の場を提供し、自分の考えを伝える手法などを身に付けてほしいと考えています。

(2) 審議

委員長：事務局から番組説明がありました。それではさっそく番組審議をお願いします。

委員A：「グランピング」という言葉は初めて聞きました。学生さんたちが自分で企画をしたのですが、コロナ禍の中で準備も大変だったのではと思います。内容については、今の世代という感じがしました。オンライン授業についての話では、二人ほどオンラインに反対を表明していて、少しほっとしました。グランピングをけっこう楽しんでいるようすから、若いことの良さが伝わっ

てきました。学校に対しての思いも、「改修された校庭の緑を早く見たい」という言葉など、保護者的な視点から、聞いていていいなと思いました。授業は「オンラインのままがいい」という子もいて、それも正直な意見なのでしょう。4つの高校がこうして番組制作に取り組んでいるのはすごく良いことだと思います。学校ごとに内容も違ってくるでしょう。

委員B：最初に、オープニングの音楽に驚きました。学生の番組なので明るいイメージを、ということなのでしょうが、音量が大き過ぎて、もう少し抑えても良かったのではないのでしょうか。内容は今のリアルな話題で、ポイントを突いた内容だったと思います。単に女子高生がにぎやかにしゃべっているというだけではなく、今の若い人たちはこういう風に考えるのか、こういうものの見方をするのか、と思いながら聴きました。オンライン授業については賛否両論あり、もっと友だちと会いたいという意見や、反対の人も全て反対ではなくて利点も感じている、賛成意見の人も学校に通いたいという思いがあるなどといった考えが分かりました。今の若い人たちについて知ることができて、勉強になりました。話のまとめ方も上手で、好印象の番組でした。

委員C：最初はガヤガヤと始まったので驚き、大丈夫かと思いました。何人もの声がして、誰が誰か分かるのか心配になりましたが、聴き進めていくうちに高校生というものが浮かび上がってきて、これはこれで良かったんだと思うようになりました。全体的に、コロナ禍でどうやって明るく振る舞うか、どうやって自分をポジティブに持っていくか、自分の文化を意識していくか、という力をすごく感じられたので、素晴らしいと思いました。普通は誰かが意見を言ったら、反対意見は空気を読んで抑えたりするものですが、相手をリスペクトしながらちゃんと自分の意見を言うのが、この子たちのすごいところだと感じました。こういう高校生がどんどん増えてほしいと思います。また、現在多くの学生がオンライン授業などで抱えている問題についても、全て話し合っているのがすごいところでした。実状では、オンライン授業になった結果、提出課題がすごく増えたため、他の勉強をする時間が無いという事態になっています。問題を出す側が、難しい問題を出しておけばそれでいいという現実があり、考えさせられます。オンライン授業で成績が良くなったとか、昼夜逆転現象などもあり、またコロナ鬱も何人かに感じられ、それらを含めて現在学生が置かれている環境、彼女たちのエネルギー、どういう風に次の時代を進めていくのかを垣間見られて、たいへんおもしろい番組でした。もっといろんな世代に聴いてほしい番組でした。音楽も良かったです。

委員D：非常に楽しく、高校生らしいというか、学校のカラーが出ていると思いました。他校との聴き比べもおもしろいのではないのでしょうか。みなさんの指摘にある通り、今の高校生の考え方が非常に分かりやすく伝わってきました。6人の出演者が一人ずつどんなキャラクターなのか全くつかめませんでした。あまり意識することもないのかとも思いました。リスナーはどんな層なのか、高校生以外にも親にも聴いてほしい内容なので、そういうPRをできないのでしょうか。家族のいい話題提供にもなるでしょう。曲数は30分間で3曲は多いように感じ、2曲程度にしてトークをたくさん聴きたいと思いました。聴きながらいろいろツッコミたくなるし、こうしたらいいじゃないかということを考えてたくなる、とにかく楽しい番組でした。

委員長：高校生が毎週、交替で4校が担当しているというのが良いです。各校で環境もそれぞれ異なるし、それらの高校生の意見をそのまま聴けるというのは貴重なことです。オンライン授業についての話題も、興味深く聴きました。現在は一般企業でもテレワークが普及していて、そういうところにつながってくる話題だったと思います。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

なし

8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

自社放送

事務所への備置

ホームページ (<https://company.minoh.net/>)

上記事項を明確にするため、この議事録を作成する。

令和2年9月29日

箕面FMまちそだて株式会社

番組審議会